

読解問題の解答 01月4週（ペンペングサ）

問1の答え 4

問2の答え 2

問3の答え 1

問4の答え 3

問5の答え 3

問6の答え 2

問7の答え 4

問8の答え 1

【まちがえやすい箇所の解説】

問1は、「A アメリカの小学校では、児童は自分の判断で号令をかける……×」「B 日本の小学生は、教師の指示がなくても自分の判断で行動する……×」です。Aは、アメリカの小学校では号令をかけるようなことがないので×。Bは、教師の作ったルーティーン化に沿ってなので×。

問3は、「A 日本の「まち」は、自然のままに発展し成長してきた……○」「B 日本人には、美的感覚はあるが、「まち」についての意識がない ……○」です。これは、長文にもそう書いてあるので○です。

問4は、A 日本の公的機関はタテワリ組織なので、建築教育も周囲との関係を考えることを教えていない。……×」「B 一つの建築物を作るときでも、周囲との関係を考えれば整った「まち」ができる……○」です。「タテワリ組織『なので』建築教育が」という構図ではないので×。Bはそのままなので○。

次回2. 4週は、読解マラソン集の5～8番から出題する予定です。

読解問題の解答 02月4週（ペンペングサ）

問1の答え 3

問2の答え 1

問3の答え 3

問4の答え 3

問5の答え 3

問6の答え 2

問7の答え 1

問8の答え 2

【まちがえやすい箇所の解説】

問2

A 「同じ」世界を「上に上ろうと」するという意味は、概念を抽象化するということである。……○

B 一期一会とは、「違う」世界を見ようとする発想である。……○

Aは、「五百万種は超えるという昆虫が「虫」の一言となり、……言葉や情報はひたすら同一性の上に成立する。」という文と、「それなら「同じ」を繰り返して階層をつくる一神教的世界に対して、……「同じ」という世界を「上に上ろうとしない」日本人は、珍しい存在ではないのか。」という文から内容的に判断して、○です。

Bは、一期一会について書いてある文はありませんが、これも内容的に判断して、○です。一期一会とは、その時、その場で、その人に、そのように会うことが一回限りのものであるという考え方だからです。

問6

A 藤子不二雄は、少年のころ、マンガ雑誌が簡単に手に入らないので、自分たちでマンガを書いた。……○

B 人間は、退屈を克服しようとして社会と自分自身を進歩させてきた。……×

○○とした人が多かったようです。

Bは、「ラッセルは一九三〇年に書いた著書『幸福論』の中で、「退屈と興奮」という章をもうけ、「退屈は、有史時代を通じて大きな原動力の一つであったし、とりわけ現代においてそうである」と説いた。」と書いてあります。つまり、人類は、退屈を紛らすために、表面的な興奮を作り出してきた、ということです。「社会と自分自身の進歩」という前向きの話とは正反対なので、×です。

問7

A 理解する能力は、進化の歴史において役立ってきた。……○

B 環境条件の変化する可能性が高いほど理解力が役に立つ。……○

○×とした人が多かったようです。

Bは、「環境条件の些細な変化によって好む結果が得られなくなってしまうというのでは、あまりにも不安定である。これに対して、その手続きが「いかにして」「なぜ」うまく働くのかがわかっていれば、条件が変わったときには、手続きを柔軟に修正することができるだろう。」と書いてあるので、内容的に判断して○です。

読解問題の解答 03月4週（プラタナス）

問1の答え 1

問2の答え 2

問3の答え 2

問4の答え 1

問5の答え 2

問6の答え 2

問7の答え 1

問8の答え 2

1～3月

小1	PDF	nane		小2	PDF	nane		小3	PDF	nane	
小4	PDF	nane		小5	PDF	nane		小6	PDF	nane	
中1	PDF	nane		中2	PDF	nane		中3	PDF	nane	
高1	PDF	nane		高2	PDF	nane		高3	PDF	nane	